

＜鹿児島市ケアニン上映実行委員会

（鹿児島市役所自主研究グループ「公民連携を推進しまくる会」）様＞

上映日：2018/07/12(木)・14(土) 場所：鹿児島医療技術専門学校・鹿児島市中央公民館(鹿児島県鹿児島市)



上映会の準備を通して普段関わりのない人や団体とやり取りをし、視野が広がりました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

鹿児島市役所自主研究グループ「公民連携を推進しまくる会」に所属する職員です。

●協力の得られた団体はありましたか？

後援は鹿児島市、鹿児島市老人福祉施設協議会、協力はアサヒ物産、谷山病院、パールランド病院、鹿児島医療技術専門学校です。

県内で上映会は何か所か開催されていたので、前例があることと、事例集を用いて説明しました。認知症や介護に関する体験ブースや展示の協力をいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

有料での開催としたため、資金はチケット収益から得る予定でした。活動途中で寄付の申し出があったため、学生向けの上映は無料で開催することができました。

●地域へどのように告知をしましたか？

関係しそうな団体へ電話をかけ、メールやファックスでイベントの内容を確認していただいた後、チラシの持ち込みをしました。その他SNS、新聞、ラジオ番組等を活用しました。一番効果があるのは、町内会長への案内だと思います。町内会の方を誘ってきてくださるので、集客につながりました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

上映後「長年認知症の夫を抱えてきたが、これまでかわいそうなことをしてきた。これからはしっかりと向き合ってみようと思う。ありがとう。」と涙ながらに挨拶にこられ、映画の持つ力を再認識するとともに、今回の取り組みを通して、この方の肩の荷を少しでも軽くすることができたと思うと、本当に企画してよかったと感じました。

チケット代を町内会費で半額補助して集客をされた町内会がありました。いち町内会で上映会を開催するのは難しくとも、このような形で地域の方に観ていただく機会を作れるのだと驚く半面、地域の方々を巻き込んだ広報活動ができた嬉しさがありました。

●地域の方々と繋がったエピソードがあれば教えてください。

地域で定期的に認知症カフェを開いている団体に協力をいただき、認知症カフェ体験を上映前に開催しました。また、介護食の展示や、市がすすめる認知症関係の教室・講座、相談機関、認知症カフェ一覧を掲示し、地域にある資源についても知っていただく機会とすることができました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

上映会の準備を通して、これまでの生活では関わることのないであろう人や団体を知ることができ、やりとりをする中で、視野を広げることができました。

ご担当者：西牟禮 慶子さん

鹿児島市ケアニン上映実行委員会自治体を越えた広域連携や、公民連携のプロジェクトを積極的に行うことで鹿児島市のまちづくりに貢献することを目的に、本市職員の有志で構成する会